

「お盆特訓」「夏期講習第2期(8月分授業)」「土ゼミ」「日ゼミ」「正月特訓」「直前特訓」の最大活用を

開倫塾

塾長 林 明夫

Q1 : 開倫塾で行われる8月の「お盆特訓」「夏期講習第2期(8月分授業)」や9月からの「土ゼミ」、11月からの「日ゼミ」、年末年始の「正月特訓」、2月の「直前特訓」などは、中学3年生であれば全員受講したほうがよいのですか。入学するのがあまり難しくない高校へ進学する場合には、開倫塾の平常授業(レギュラー授業)と各講習会だけで十分な気がするのですが。

A : (1) 1979年に創業の開倫塾では、多くの中学生が熱心に取り組んでいる部活動の終了直後から、高校入試の前日までが「本格的な受験勉強の期間」と考えます。1979年の創業以来、この「本格的な受験勉強の期間(約8か月間)を、「受験生」がどのように過ごせば第1志望校の合格が果たせ、第1志望校入学後に素晴らしい充実した高校生活を送れるかを考え、受験生の皆様の「成功の実現」のために様々な教育プログラムを開発し続けてきました。

(2) 最も受験勉強に集中できる夏休みは、「夏期講習会」「お盆特訓」「夏期講習第2期(8月分授業)」と日曜日以外はほぼ毎日通塾することで、受験勉強の第1歩を切って頂きます。

(3) 授業のない時間には開倫塾の先生の出勤時間内であれば、「開倫塾の自己学習スペースで長時間の自己学習」が可能です。

① 午前中は家庭で勉強。昼食をとって、午後から夜までは開倫塾で夏期講習会・お盆特訓・8月分授業を受講。授業のない時間は「自己学習スペース」でひたすら受験勉強。

* 日曜日はお休み。十分リフレッシュして休養を取る。

② この夏の40日間、このように過ごして、8月末や9月から行われる業者模試・定期試験・3大検定に臨めば、必ず一定の成果が得られます。

③ 偏差値大幅アップは確実です。

「お盆特訓」は必ず受講してくださいね。

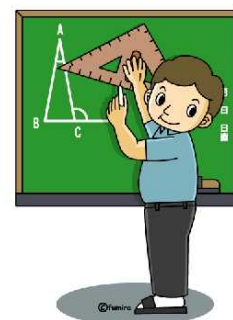


Q2 : 9月からの「土ゼミ」、11月からの「日ゼミ」は受けたほうがよいのですか。

A : (1) 9月からの「土ゼミ」は、受験勉強がより本格化する9月からは、受験生であれば月曜日から土曜日まで週6日間は受験勉強に専念したほうが第1志望校合格をよりスムーズにするためです。

(2) 11月から入試直前までの5か月間は、受験生は日曜日もひたすら受験勉強。冬期講習会前期と冬期講習会後期の間には含まれた年末年始は、「正月特訓」で連日受験勉強となります。

(3) 3学期に入ると週7日間の受験勉強がさらに続き、「直前特訓」を経て、万全の態勢で受験当日を迎える。これが、「本格的進学塾開倫塾」の「本格的な受験勉強の指導」期間です。



Q 3 : 話が元に戻りますが、入学するのが比較的簡単な高校を第1志望校とする場合に「お盆特訓」や「土ゼミ」、「日ゼミ」、「正月特訓」、「直前特訓」などは本当に必要なのですか。

A : (1)よくお考えください。ある一定レベル以上の高校に入学する受験生の皆様全員が「平常授業」や「各講習会」の他に「お盆特訓」や「土ゼミ」、「日ゼミ」、「正月特訓」、「直前特訓」などを受講し、また、自己学習スペースなどを利用して長時間学習をし、必死になって受験勉強をしています。

(2)入学するのが簡単だから、そのようなかなり本格的な受験勉強をしないというのなるほど一つの考えですが、もしこのような本格的な受験勉強をして入学するのが簡単だとおっしゃる高校に入学し、受験勉強と同じような熱心さで高校3年間学び続けたらどうなるか。

(3)おそらく、その高校では常にトップクラスの成績を取り卒業。進学や就職も最も希望するところを選ぶことができると考えられます。高校での勉強もよくわかり、高校の成績も全教科素晴らしいものとなります。光り輝く高校生活を必ず送ることができます。



Q 4 : 入学するのが難しめの高校を第1志望校としているのですが…。

A : (1)この夏休みから入試前日まで、開倫塾の平常授業と各講習会すべてに参加の上、「お盆特訓」や「土ゼミ」、「日ゼミ」、「正月特訓」、「直前特訓」などにすべて参加してください。

(2)加えて、夕刻から東京は夜10時まで、北関東は夜10時30分まで、毎日開倫塾の「自己学習スペース」に通い詰めて「ハードな長時間自己学習」をし続ければ、「学習習慣」が身に着いていますので、どのような難関校での授業や試験にも耐えられる素晴らしい成績を取り続けることができます。

(3)志を高くもち、自己学習能力を磨き続ければ、第1志望とする大学への合格も決して夢ではありません。



Q 5 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)開倫塾の塾生の皆様は、せつかくこのような40年の歴史と伝統のある本格的学習塾開倫塾で学んでいるのですから、これからの7~8か月間の「受験勉強期間」の間に、大切な「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」を少しずつでも身に付けてください。皆様が学べば学ぶほど、必ず「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。また、皆様が学べば学ぶほど、「正常に機能する社会」「持続可能な社会」の形成にお役に立つと確信いたします。

(2)開倫塾の「平常授業(レギュラー授業)」「各講習会」「お盆特訓」「土ゼミ」「日ゼミ」「正月特訓」「直前特訓」はじめすべてのプログラムは、開倫塾の教務本部スタッフの先生方が、毎年徹底的に見直し、改訂し続けているものです。どのような内容かは、先生方から直接お聞きください。

(3)「自己学習スペース」で何をどのように勉強したらよいかも、詳細な学習方法が40年かけてまとめ続けた「学習の3段階理論」としてまとめられています。ぜひ参考にしてください。

*全教科の基礎・基本であり、入試問題を最後まで正確に読み解くために不可欠な「読解力」を身に着けるために、「辞書・新聞・読書」は、極めて役に立ちます。ぜひ「自己学習スペース」で受験前日までお取り組みください。

「読解力なくして偏差値アップなし」です。「辞書・新聞・読書を最大活用した受験生で、偏差値65以下の人はいない」。そう考えます。ではがんばって。



